

長者原発電所改修工事における定礎式の実施について

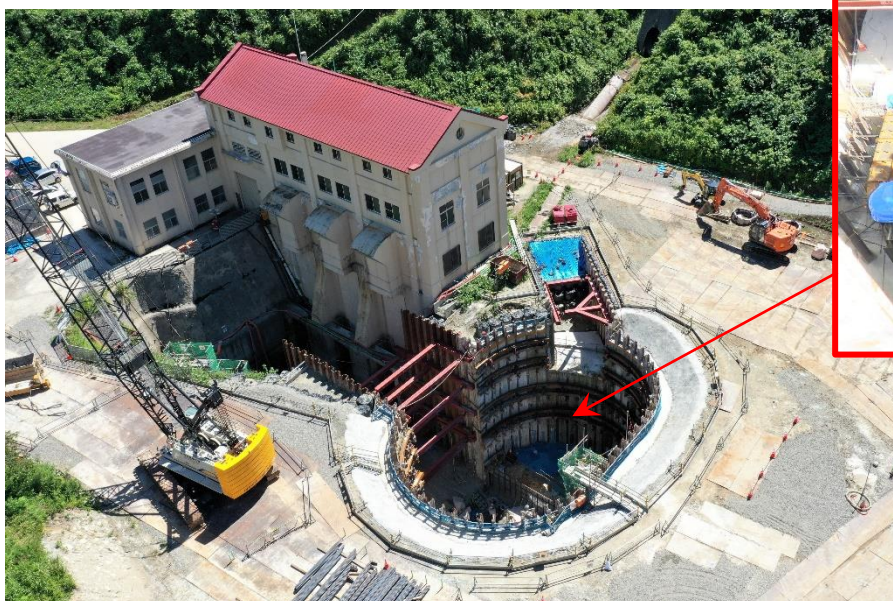
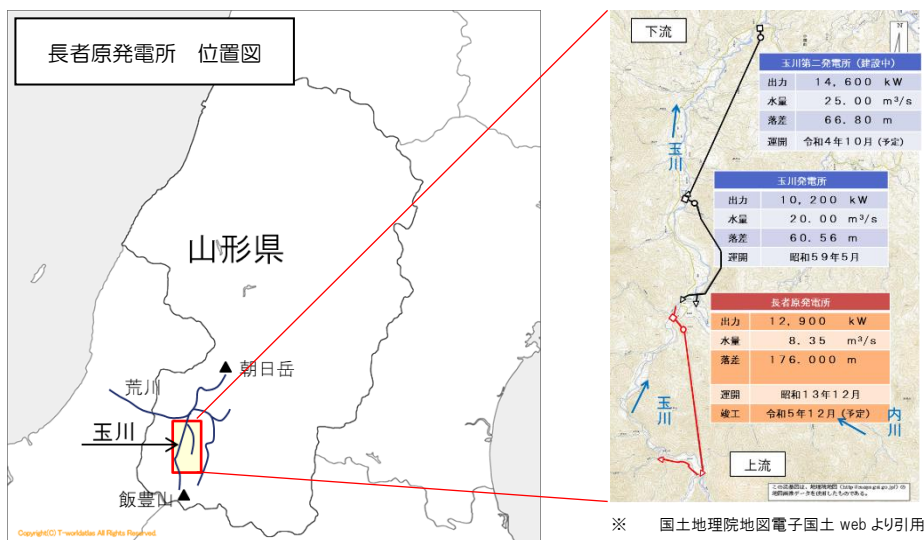
長者原発電所は、山形県西置賜郡小国町を流れる一級河川荒川水系玉川に位置する最大出力12,400kW（工事完了後は12,900kWに変更）の流れ込み式発電所です。

同発電所は、昭和13年12月の運転開始以来80年以上が経過し、設備の老朽化が進行していることから設備の全面改修を計画したものです。

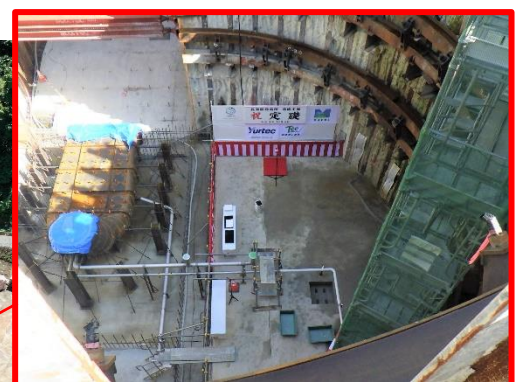
本改修工事は、昨年7月から準備工事として仮設ヤードの造成、資機材運搬用の索道基礎ならびに新設発電所用土留等の構築を進め、本年3月に既設発電所を停止し工事を本格化させております。

現在、取水路および導水路の表面劣化個所の内張補強として覆工板（レジンコンクリートパネル）の設置、水圧鉄管については既設水圧管の撤去、発電所については立坑掘削を行っておりましたが、発電所立坑掘削が完了したことから、10月4日に定礎式を執り行ったものです。

当日はコロナ禍という状況もあり、当社建設員と工事関係者のみでの式典でしたが、厳かに進行了ました。参列者一同、今後の工事が安全かつ順調に進むよう気持ちを新たにしました次第です。



発電所立坑掘削箇所



礎石据付箇所



鎮定（ちんてい）の儀



斎饗（いみごと）の儀



斎槌（いみつち）の儀



礎石埋納